

令和2年度 第5回下野市公民館運営審議会 会議録

- ・ 審議会名 第5回下野市公民館運営審議会 会議録
- ・ 日 時 令和3年3月24日（水）午前9時30分～11時30分まで
- ・ 会 場 下野市国分寺公民館 視聴覚室
- ・ 出席者 小林委員長、小貫副委員長、菅沼委員、石崎委員、石田委員、兼丸委員、館野委員、津野田委員、上野委員、高木委員、中澤委員
【欠席】塩沢委員、倉井委員、大越委員、谷萩委員
(事務局) 齋藤国分寺公民館長、田村南河内公民館館長、大島南河内東公民館長、篠崎生涯学習文化課長、浅香課長補佐、漆原主査
- ・ 公開・非公開の別 (公開)・一部公開・非公開)
- ・ 傍聴人 なし
- ・ 報道機関 なし
- ・ 議事録(概要) 作成年月日 令和3年3月29日

【協議事項等】

1. 開会
2. 会長あいさつ(小林委員長)
今年度最後の会議になる。今年度はコロナウイルスで日本に限らず世界的にも大変な1年であった。来年度も引き続きコロナに悩まされる年になるかと思う。
公民館講座など行く側も十分注意が必要、受け入れる側の公民館の対策もとても大変だったと思う。対応に感謝したい。
3. 教育長あいさつ(代理:生涯学習文化課篠崎課長)
委員の皆様の活発なご意見ご努力により、第二次公民館振興計画が策定できた。大変ありがとうございました。
4. 議題
(事務局) 議題の進行は委員長にお願いする。
(1) 令和2年度公民館事業実績報告について
(小林委員長) 事務局より説明を求める。
(事務局) 資料のとおり、今年度はコロナ感染症対策により講座が半分以上できず、全館とも公民館まつりが中止となってしまった。
各館から特筆したものの説明と言っても無理があるため、資料をご覧いただき、委員の皆様から各館に対して質問があれば館長より回答する形としたい。
(小林委員長) 実績報告について、全体として中止となってしまった講座が多く大変残念だった。来年度実施する計画があれば、実施してほしいという意見が出ていたようだが、他にないか。
(石田委員) 南河内東公民館の成人講座「お茶とともに」の今後の取り組みでALTの契約形態の変更、国際交流員の変更とあるが、具体的に人が変わったのか。どういうことか。

(事務局) A L Tの契約形態の変更については、これまで市と直接A L Tが契約していたが、今年度、一部委託会社から派遣される形態になり、委託会社との契約になった。来年度からは全て市とA L Tとの直接契約ではなく、市と委託会社と契約になる。また国際交流員の変更については、交流員が帰国してしまったため、来年度については国際交流員との交流をなくし形を変えて実施することとした。

(石田委員) 国分寺公民館セカンドステージ講座「0から始めるフライフィッシング入門」やゴルフなどの野外スポーツは、コロナ禍によってブームになっている。希望者が少なかったとのことだが、開講できなくて残念だった。

(事務局) これは野外での講座ではなく、室内でキャスティング(投げ)、フライ(疑似餌)を作る講座の予定だった。見直して来年度は2回ほど野外での実践形式で計画した。

(石田委員) 現場に出かける前の講座だったということであった。

(2) 令和2年度下野市公民館利用状況調べについて

(小林委員長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づいて説明。

利用件数、利用人数ともに、昨年度2月末と比較して4分の1程度になっているが、逆にコロナ禍でもここまでご利用いただけたことはありがたい状況だと思っている。

また、国分寺公民館が改修工事のため一時休館、南河内公民館は5月の緊急事態宣言発令時は市役所庁舎職員のサテライトオフィスとなっていたため会議室1部屋が貸し出し不可となり、1月の緊急事態宣言時は国分寺及び南河内公民館がサテライトオフィスとなっていたため、一部の会議室が貸し出し不可となった。その人数に関してはこの利用人数には入れていない。

(小林委員長) この利用状況について何か質問はあるか。

ないようなので、次の議題に移る。

(3) 公民館評価について

(小林委員長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 評価について、委員の皆様からのいただいたご意見ご質問と回答を説明。

評価は外部組織として公民館運営審議会に諮っている。今年度は事業の中止や縮小を余儀なくされた。しかし、各館とも実施した事業を基に成果等を記入した。この内容が評価に値するか、評価をしないのかを審議会で決定してほしい。

(小林委員長) 評価はあくまでも外部で行うことになっている。事務局の説明に対して意見はあるか。

(石田委員) 評価した後は原則公表なので、評価に値しないのでA B C以外にその他として評価を見送りしても良いのかと思う。

(兼丸委員) 評価しようとしてできないところは確かにあるが、コロナ禍で努力されていた面がみえたので、まるっきり評価しないのはどうなのかと思う。評価する

ことが難しいところは多々ある。

- (津野田委員) 自分ができないところは空欄でも公民館職員は頑張ってやっていたことを評価した方がよいと思う。
- (舘野委員) やはり評価できるところは評価した方がよい。
- (上野委員) 実施したものを評価すべきだと思う。
- (高木委員) コロナは来年度も続くと思う。今年度はどうしたらよいかわからない中、中止したり開催したり思考錯誤しながら対応していた。他の市町の公民館が休館していても下野市は利用できたことは評価したい。
- (中澤委員) できる範囲で評価はした方がよい。
- (石崎委員) 基本的に評価しなくても良いと思うが、公民館が努力して行った事業は評価すべき。評価するにあたってこの会の意見をまとめて付帯案として評価したらよい。
- (菅沼委員) 自分が参加した講座は、公民館職員は注意を払いながら苦勞していた。そこを評価してあげたい。
- (小貫副委員長) 実績のあるものは成果がなくても評価する。
- (小林委員長) 実施したものについて、評価することでよいか。本来なら講座やまつりなど各館に出向いたりしながら評価するのだが、今年度については、あくまでも内部評価に対しての評価になると思う。
- (石田委員) A B C 評価欄はどうするのか。
- (上野委員) 実績や成果が上がったことに対する評価なのか。公民館が努力したことに対する評価なのか。
- (高木委員) 実際に利用している利用者がよくわかっていると思うので、今回は無理だがアンケートを取りそれを見て委員が評価しないと正確な評価にならないのではないか。
- (小林委員長) これまでも公民館は、講座受講生にはアンケートを実施し、結果を次年度講座に組み入れて反映させているかと思うがどうか。
- (事務局) 本来ならアンケートをすべて委員にお見せすべきかと思うが、通常各館ともに約15講座実施し、その受講者全員のアンケート結果を見ていただくことは難しいため、実績報告としてアンケートの結果をふまえ、成果や今後の課題などもまとめている。しかし、今年度はコロナ禍なので充実した書き方はできなかった。講座以外の利用者からいただくご意見なども加味している。上野委員の意見について、どちらかなのかは各公民館により若干違いは出ている。今後見直しが必要かと思う。A B C 欄にその他を設けるか、こんなに頑張ったからA、これしかやってないからC、評価に値しない→×、✓など事務局では判断できないので委員の皆様判断してもらいたい。
コロナ禍で各館とも生涯学習文化課の中で協議を重ねながら進めてきたことなので、できたら評価していただけるとありがたい。
- (小林委員長) 事務局の説明にあったが、評価できるところは評価する方向でよいか。どのように評価するか、A B C について個人の見解があると思うが、評価の経験者の意見を聞きたい。
- (石崎委員) 特別コロナ禍での評価ではなく前年同様でよい。評価した結果が数字で出て

独り歩きしてしまうから評価することに躊躇している。

(小林委員長) 皆さまから提出いただいた評価や意見を事務局でまとめ、そのまとめたものに対して5月に会議をしたらどうか。

(事務局) 最終的に7月に教育委員会に報告して、8月にホームページに掲載する。掲載は評価のみではなく評価シートも掲載する。

全館の総評の中に令和2年度はコロナ禍において事業の実施が不十分であった中で評価したという文章を入れることとしたい。

(上野委員) 評価は、対前年比は関係ない、今年度の活動に対しての評価でよいのか。

(小林委員長) はい。評価経験者の方から意見を聞かせてほしい。

(菅沼委員) コロナ禍で事業ができなかったのに評価するのは心苦しい。

(兼丸委員) 昨年もABどちらをつけるか悩み、経験していても非常に難しい。コロナ禍で考慮しながら特別な評価をするしかないのか、数字だけ追っていくのは危険、難しいが全体の報告書を見て評価するしかない。まだコロナは終息しそうもなく、令和3年度につなげていくためにも今年度の評価は重要、それなりの判断をして評価しなければならない。

(小林委員長) 令和3年度はマニュアルを見直す時期なので、兼丸委員のご意見は皆様頭に入れておいていただきたい。

(舘野委員) こんな状況の中での評価は難しい。昨年は各公民館の中の様子やまつりを見て評価した。評価できるものを評価していきたい。

(津野田委員) 公民館事業に参加できない中、職員の作成した内部評価を参考に評価を判断していくしかできない。こんなところが大変だったとか努力したとか読み取って評価したい。

(中澤委員) 努力はするができないかもしれない。

(小貫副委員長) サークル活動で毎月国分寺公民館を利用しているのでわかるが、他館は評価シートの実績と成果を見て評価したい。

(小林委員長) 事務局に確認だが、5月の会議時に意見がいろいろ出るかと思うが、その状況で7月の公表を控えることはできるのか。

(事務局) 公表することは振興計画でうたっている。5月の会議時に皆様から提出いただいた評価をまとめ、公表の案を示させていただきご審議いただきたい。公民館が1年間休館だったなら評価はできないが、少なからず実施した事業があるので評価いただき、ホームページで公表したいと考える。

(小林委員長) 実施した事業について、内部評価を参考に評価する。ABC欄は評価できなかったら、空欄ではなくハイフンや×など記入し提出する。提出期限は4月24日。事務局は、5月の会議に評価のまとめたものと公表の案を提示する。

(4) 下野市公民館振興計画(第二次)について

(小林委員長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料に基づいて説明

パブリックコメントの結果について、ご意見と回答の説明

(小林委員長) 貴重なご意見をいただきありがたい。この二次計画を基に来年度はマニュアルの見直しをしなければならない。内容について再度読んでおいてください。

(5) その他

講座申込後、落選者への通知について

現在、抽選により落選した方に対して通知を郵送している。経費削減のため4館の全応募者へは通知はしていない。エールにも記載している。ただし、講座内容や状況によっては通知を出す場合もある。

6. 閉会